

持続的血液濾過透析施行時における V チャンバー構造の違いによる回路ライフタイムへの影響に関する検討

1. 研究の対象

2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日までで持続的血液濾過透析（CHDF）の治療を受けられた方
AN69ST 膜（セプザイリス膜）を用いて治療を受けられた方に限る

2. 研究目的・方法

持続的血液濾過透析（CHDF）施行時において、CHDF 回路の凝血が少なくより長い時間透析を行えることは病客様の血液損失の減少など体の負担軽減となります。

2023 年 1 月より新たな CHDF 装置を導入し、現在当院では 2 社の CHDF 装置を保有しています。新たに導入した装置では、静脈チャンバー構造（空気や血栓が血管内に入らないようにするためのフィルター）が異なっており、回路凝血の一因である静脈チャンバーの血栓閉塞が起こりにくいことが言われていますが、実臨床での影響は定かではありません。

異なる 2 つの静脈チャンバーの CHDF のライフタイムへの影響を検証することを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

JMS 社製 JC-01（CHDF 装置）、Baxter 社製 Prisma Flex（CHDF 装置）、ダイアライザー（セプザイリス膜）等

4. 利益相反

なし

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

心臓病センター榊原病院

住所：岡山市北区中井町 2-5-1

電話：086-225-7111

担当者：藤本 知也

研究責任者：

心臓病センター榊原病院臨床工学科 中島 康佑